

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書（最終評価書）

令和2年7月3日

計画の名称	1 高梁市歴史的町並み環境整備		
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）	交付対象	高梁市
計画の目標	歴史的な町並みや建造物等の保存・修景・活用等により、住環境の向上と歴史的風致の向上、交流人口の増加を図り、地域文化を心豊かな人を育むまちづくりを実現する。		
計画の成果目標（定量的指標）	・歴史と伝統に満ちた環境整備をおこない、重点区域及び周辺地区における観光入込客数の増加35万人/年（H27）から40万人/年（H31）に増加		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			当初現況値 (H28当初)
			中間目標値 (H29末)
			最終目標値 (H31末)
① 観光入込客数調査（参考観光課調べ）に基づき算出 (入り込み客数の増加) = (評価時点の入り込み客数) / (H27当時期の入り込み客数) (%)	114%	97%	93%
			H27 35.8千人 H28 40.8千人 H29 34.7千人 H31 33.2千人
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,983百万円	A
		1,841百万円	B
		0百万円	C
		142百万円	
		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7.1%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
高梁市（産業経済部産業観光課）において実施	令和2年4月
	公表の方法
	高梁市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31		
1-A1-1	住宅	一般	高梁市	直/間	高梁市/個人	-	-	高梁地区街なみ環境整備事業	地区施設整備、歴史的風致形成建造物整備、修景施設整備（助成）等面積：78ha	高梁市					1,011	
1-A1-2	住宅	一般	高梁市	直/間	高梁市/個人	-	-	吹屋地区街なみ環境整備事業	生活環境施設、歴史的風致形成建造物整備等面積：210ha	高梁市					830	
											小計（基幹事業）		1,841			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31			
											合計					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31			
1-C-3	活動支援	一般	高梁市	間接	団体	-	備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業（高梁・吹屋）	活動助成・設備整備補助	高梁市					13		
1-C-5	活動支援	一般	高梁市	間接	団体	-	松山踊り保存伝承活動推進事業（高梁地区）	活動助成・設備整備補助	高梁市					2		
1-C-8	活動支援	一般	高梁市	間接	高梁市	-	吉岡銅山遺跡修復整備事業（吹屋地区）	施設の再構築	高梁市					20		
1-C-9	活動支援	一般	高梁市	間接	高梁市	-	広兼邸修復整備事業（吹屋地区）	施設の再構築	高梁市					107		
											合計		142			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-3	市を代表する伝統文化である備中神楽、渡り拍子の保存伝承育成活動により、地域のコミュニティが守られる。	
1-C-5	市を代表する伝統文化である備中松山踊りの保存伝承育成活動により、地域のコミュニティが守られる。	
1-C-9	歴史的風致形成建造物である広兼邸の再構築により、吹屋地区への集客力が増大し、交流人口の増加が図られ地域の活性化が見込まれる。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 観光入り込み客数も増加傾向にあったが、平成30年豪雨災害や新型コロナウイルスの影響により、目標数値には達していない。 町並みの整備によって、魅力的な地域となり定住希望者も増加傾向にある。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（観光入り込み客数）	最終目標値	40万人	目標値と実績値に差が出た要因	平成30年豪雨災害以降の観光客の減少と、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による施設の閉鎖、観光産業への自粛が影響している。
		最終実績値	33.2万人		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 保存伝承活動により、少子高齢化が進む地域においても地域コミュニティの維持がはかれている。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業に取り組み、観光入り込み客数の増加を目指すとともに、保存伝承活動により、地域コミュニティの維持を図って行く。 高梁地区は、備中松山城では、雲海の山城・ねこ城主等の注目もあり順調に伸びていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響による施設の閉鎖等で観光客数が減少している。関係機関と協力して事業を行い、入り込み客数の増加を目指して目指していく。 吹屋地区は、平成30年豪雨災害以降施設への入館を事前予約制に変更した施設もあり、総体的に入り込み客数が減少している。イベント等により交流人口は、増加傾向にあるので、入り込み客数の増加につなげていけるよう取り組んでいきたい。また、日本遺産の認定による事業と連携して観光客数の増加を目指していく。
